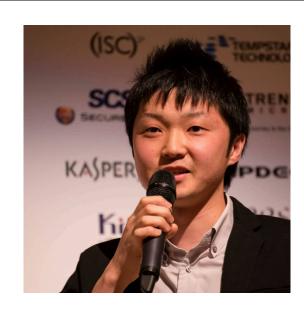
CTF for E"#"T-%"

ネットワーク講習

自己紹介

- 保要 隆明 (ほよう たかあき)
- Hから始まる理工系大学院 修士課程2年
- CTF team : ****** → ???
- twitter: @takahoyo
- CTF4b歴: 2年目



本日の内容

- 1. ネットワーク分野で必要な知識と技術は?
 - パケット・通信プロトコル
 - Wiresharkの基本的な使い方
- 2. CTFにおけるネットワーク問題
 - どういう問題が出るのか
- 3. 問題を見てみよう
 - 問題解くときに見るべきポイント
- 4. 今後のレベルアップするためには

本日の内容

- 1. ネットワーク分野で必要な知識と技術は?
 - パケット・通信プロトコル
 - Wiresharkの基本的な使い方
- 2. CTFにおけるネットワーク問題
 - どういう問題が出るのか
- 3. 問題を見てみよう
 - 問題解くときに見るべきポイント
- 4. 今後のレベルアップするためには

4

ネットワークで必要な知識と技術

- ネットワークプロトコルについての知識
- ネットワークを流れる通信を解析する技術

5

通信プロトコル

通信プロトコル

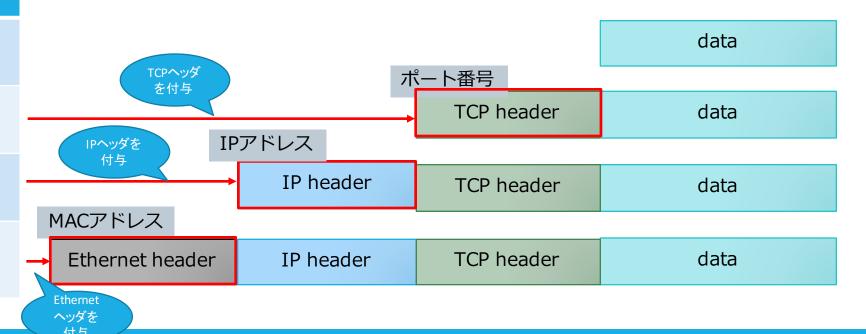
- 通信は、プロトコルという決まりによって行われる
- 通信プロトコルは、役割ごとに階層が分かれている

OSI参照モデル	TCP/IP	主なプロトコル
アプリケーション層	アプリケーション層	プリケーション層 HTTP, FTP, SMTP, POP3 TELNET, SSH, DNS
プレゼンテーション層		
セッション層		
トランスポート層	トランスポート層	TCP, UDP
ネットワーク層	インターネット層	IP, ICMP
データリンク層	ネットワーク インターフェース層	Ethernet, ARP
物理層		

通信プロトコルとパケットの構造

- ・各プロトコルの階層ごとに制御情報(Header)が付与
- Ex. Webページ閲覧

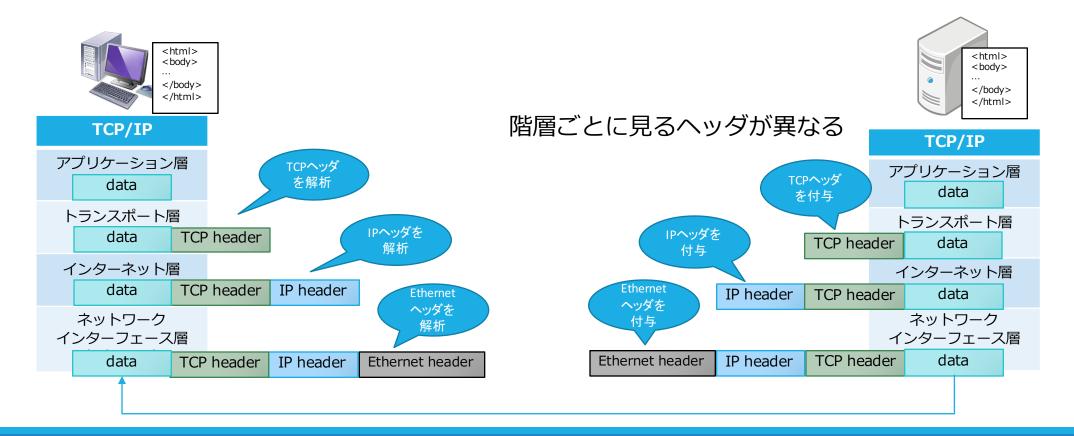
TCP/IP アプリケーション層 (HTTP) トランスポート層 (TCP) インターネット層 (IP) ネットワーク インターフェース層 (Ethernet)



8

TCP/IP通信の例

• Ex. Webページの閲覧

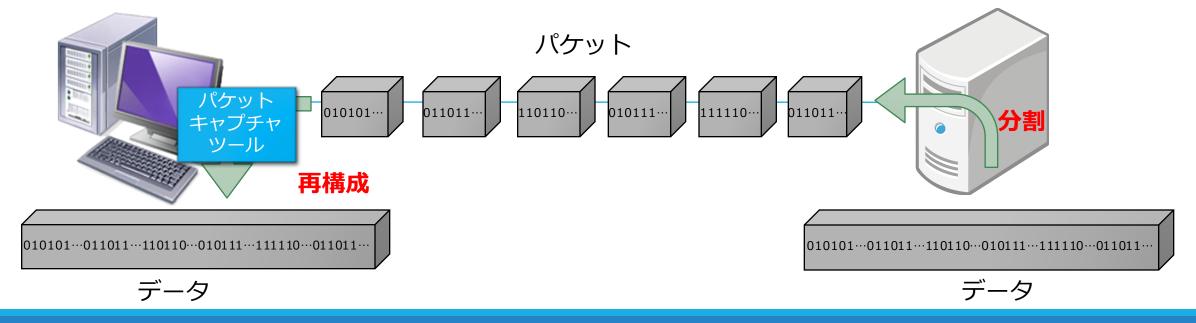


9

パケット

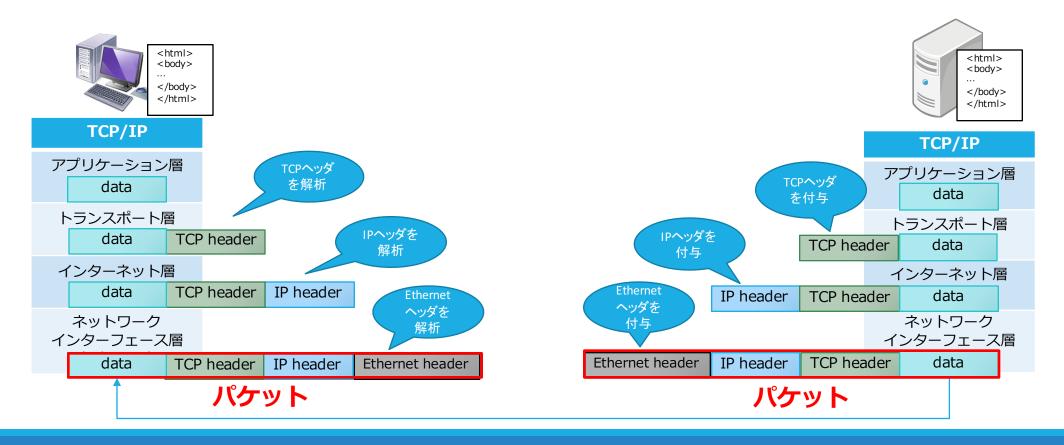
パケット(packet)とは

- ・ 直訳 → 小包、小箱の意味
- ネットワーク上に分割されたデータ = パケットが流れている
- •パケットキャプチャ = 流れているパケットを捕まえる



先ほどの例で言うと…

Ex. Webページの閲覧



pcap(pcap-ng)ファイル?

- キャプチャしたパケットを記録したファイル
- CTFでは、このファイル形式で出題されることが多い
 - → これを読めるようにならなければならない
- fileコマンドすると…

```
$ file example.pcap
example.pcap: tcpdump capture file (little-endian) - version 2.4 (Ethernet, capture length 65535)
```

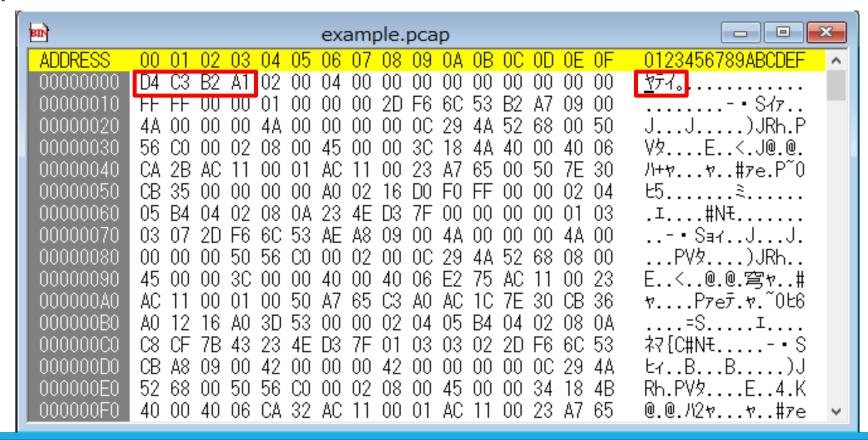
```
$ file example.pcapng
example.pcapng: pcap-ng capture file - version 1.0
```

※fileコマンド:ファイルの種類をデータの内容から判定するコマンド

※ Macのデフォルトのfileコマンドだと、pcap-ngファイルはdataとして扱われる

pcap(pcap-ng)ファイル?

• pcapファイルをバイナリエディタで見ると…



※バイナリエディタ Strilingを使ってます

pcap(pcap-ng)ファイル?

•pcap-ngファイルをバイナリエディタで見ると…

```
example.pcapng
ADDRESS
                                                             0123456789ABCDEF
00000000
         OA OD OD OA 74 OO OO OO 4D 3C 2B 1A O1 OO OO OO
                                                             ....t...M<+....
00000010
00000020
                                                             it Windows 8, bu
00000030
                                                             ild 9200../.Dump
00000040
                                                             cap 1.10.0 (SVN
                               -30
00000050
                                                             Rev 49790 from /
00000060
                                                             trunk-1.10).....
00000070
00000080
                                                             .....2.¥Device¥
00000090
                                                             NPF {D02B204B-BC
000000A0
                                                             C9-40AC-A585-5F8
000000B0
                                                             D671F810F}.....
000000C0
                                                             .....64-bit W
000000D0
                                                             indows 8, build
000000E0
          39 32 30 30 00 00 00 00 78 00 00 00 04 00 00 00
                                                             9200....×.....
          1C C7 00 00 01 00 17 00 73 A5 9F C9 61 31 35 38
000000F0
                                                             .ヌ....s·淤a158
```

※バイナリエディタ Strilingを使ってます

pcapファイルを読むためには…

- ネットワーク解析ツールを利用する
- 主な解析ツール
 - Wireshark (Windows, OS X, Linux)
 - Network Miner (Windows)
- 今回はWiresharkの使い方を主に説明

バイナリエディタを使用する(上級者向け)



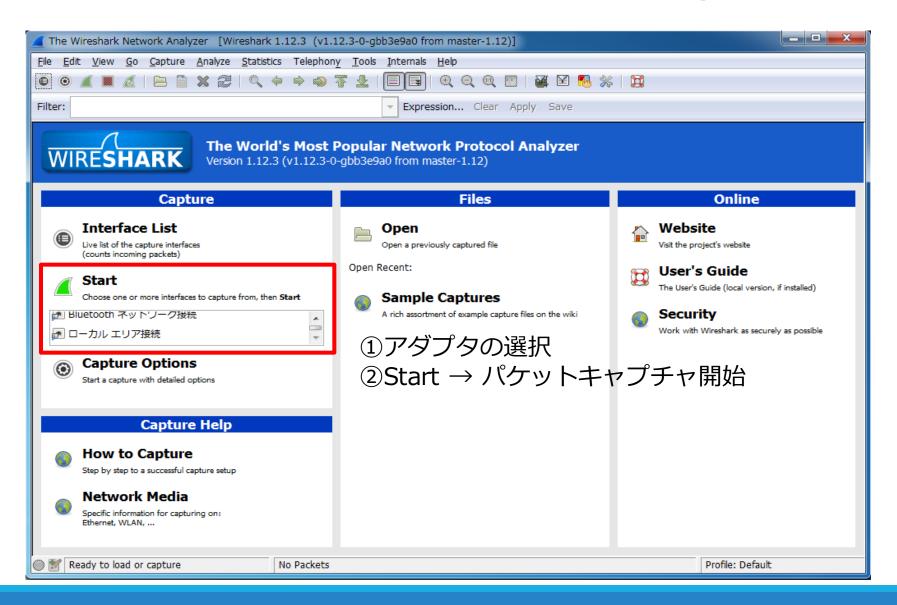
Wiresharkの主な機能

- ネットワークを流れるパケットをキャプチャ
- キャプチャしたパケットを表示する
- 表示したパケットを解析する
 - 指定した条件でフィルタリング
 - パケットからファイルを抽出
 - TCPやUDPのデータ部分(ペイロード)を取り出す
 - 通信を行ってるIPアドレスの統計を表示
 - その他にもいろいろ(紹介したらキリがない)

2015/7/3

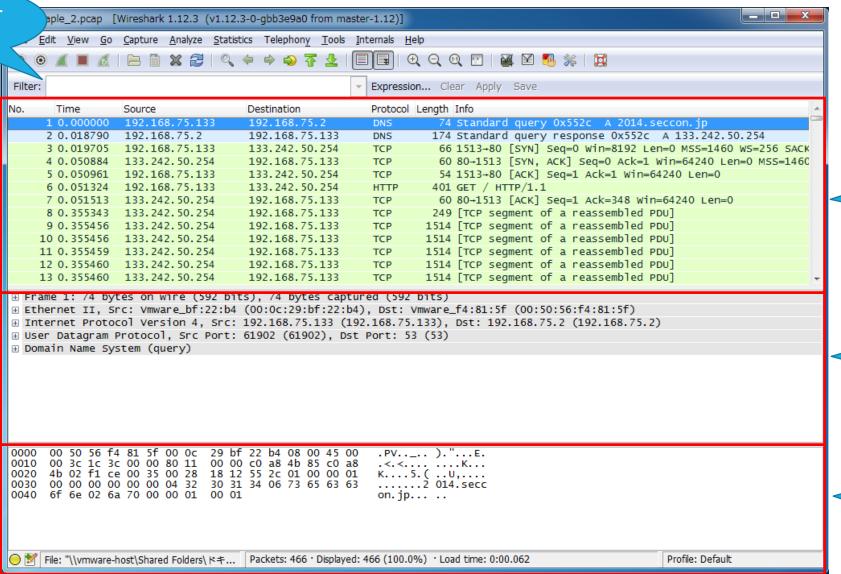
18

パケットキャプチャ機能



詳細なパケット表示機能

Display Filter ディスプレイフィルタ

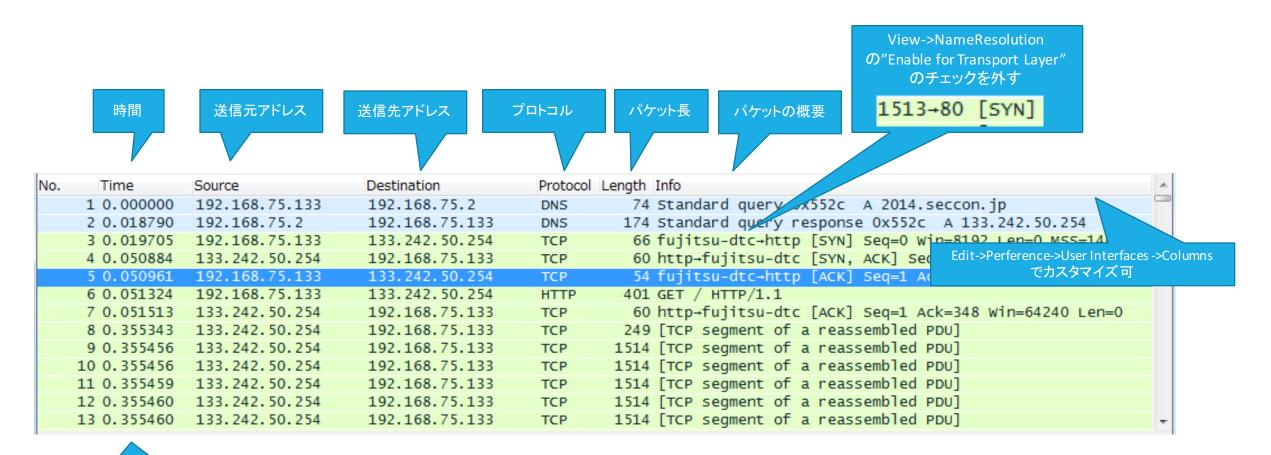


Packet List パケットの一覧

Packet Details パケットの詳細

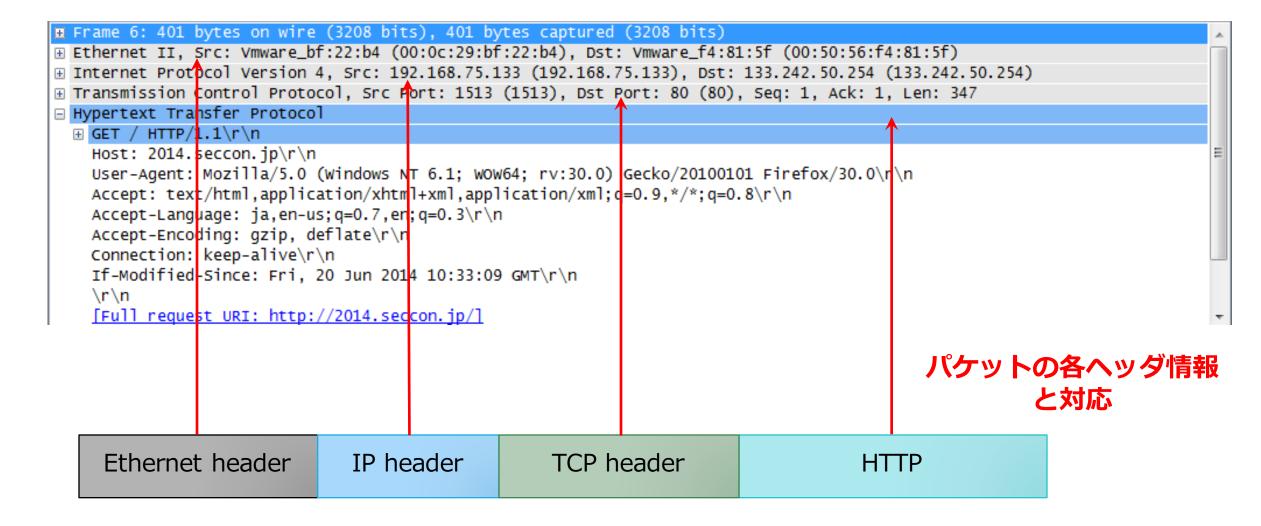
Packet Bytes 生のパケット

Packet List (パケット一覧)



View->Time Display Format で形式を変更可

Packet Details (パケットの詳細)



Packet Bytes (生のパケット)

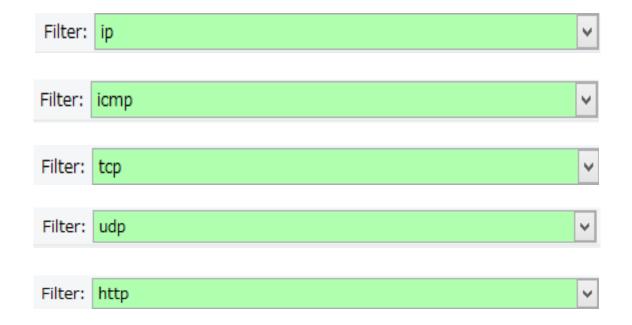
- Wiresharkが解析し、整形してくれている
- 場合によっては見る必要アリ

```
0000
0010
0020
0030
0040
0050
0060
0070
0080
0090
00a0
00b0
00c0
00d0
00e0
00f0
0100
```

【目的別】Wiresharkの使い方

- 条件にあった通信を抜き出したい → Filter
- TCPで送受信されるデータを抜きたい → Follow TCP Streams
- HTTPで扱ってるファイルを抽出 → Export Object->HTTP
- パケットから生データ抽出 → Export Selected Packet Bytes
- パケットの様々な統計を知りたい → Statistics

- ・プロトコルの指定
- •例
 - IPを使ってるパケットのみ
 - ICMPを使ってるパケットのみ
 - TCPを使ってるパケットのみ
 - UDPを使ってるパケットのみ
 - HTTPを使ってるパケットのみ

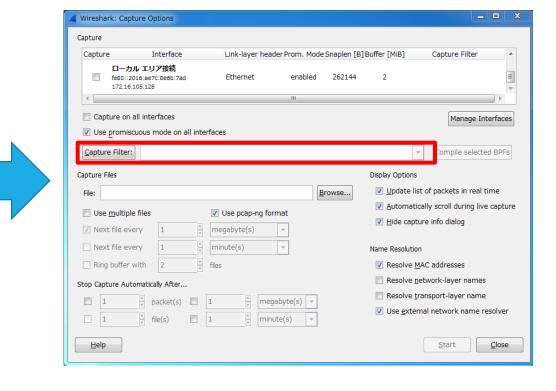


25

Filter

Capture Filter







Filter

Capture Filter

- パケットキャプチャを始める前に指定
- キャプチャしたいパケットが決まっている時に有効
- 無駄なパケットをとらなくて済む
- 今回は説明省略

Display Filter

- パケット表示画面で指定(パケットキャプチャしながら指定可能)
- キャプチャ中もキャプチャ後もFilterをかけることが可能

各フィルタで書式が違う!!

- •プロトコルの要素でフィルタリング
- •例
- •TCPの80番ポートを利用している通信をフィルタ
 - tcp.port == 80
- •IPアドレスが133.242.50.254の通信をフィルタ
 - -ip.addr == 133.242.50.254
- •IPアドレスが133.242.50.254で、TCP80番ポートの通信
 - -ip.addr == 133.242.50.254 & tcp.port == 80
- •TCPでSYNフラグが立っているパケットをフィルタ
 - tcp.flags.syn == 1

よく使う(独断と偏見)フィルタの構文

フィルタ	意味
ip.addr == IPアドレス	IPアドレス
ip.src == IPアドレス	送信元のIPアドレス
ip.dst == IPアドレス	送信先のIPアドレス
tcp.flags == 0x02	TCPパケット(syn)
tcp.flags == 0x12	TCPパケット(syn/ack)
tcp.flags == 0x14	TCPパケット(rst/ack)
tcp.port == ポート番号	TCPのポート番号
tcp.srcport == ポート番号	TCPの送信元ポート番号
tcp.dstport == ポート番号	TCPの送信先ポート番号
http.request	HTTPのリクエスト
http.response	HTTPのレスポンス

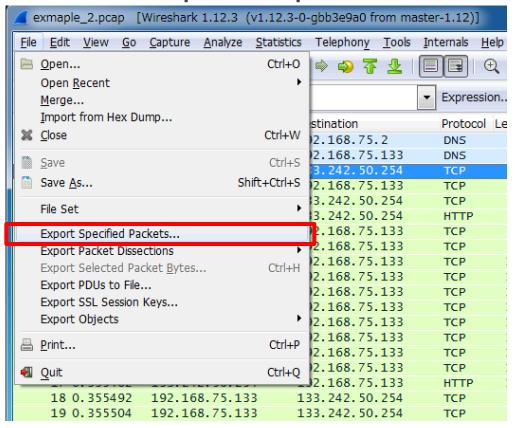
比較演算子

比較演算子	意味
eq (==)	等しい
ne (!=)	等しくない
gt (>)	大きい
lt (<)	小さい
ge (>=)	以上
le (<=)	以下

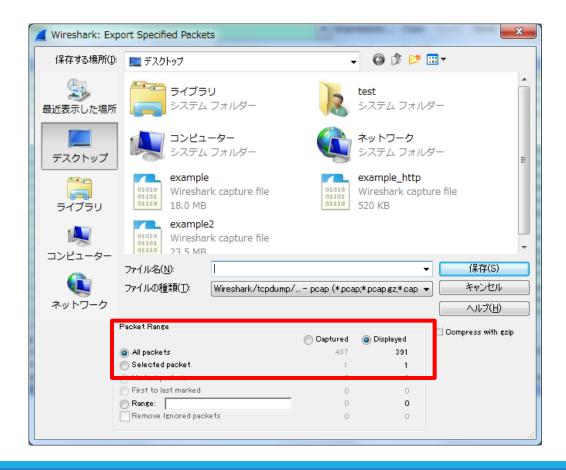
論理演算子

論理演算子	意味
and (&&)	論理積 (かつ)
or ()	論理和(または)
not (!)	否定

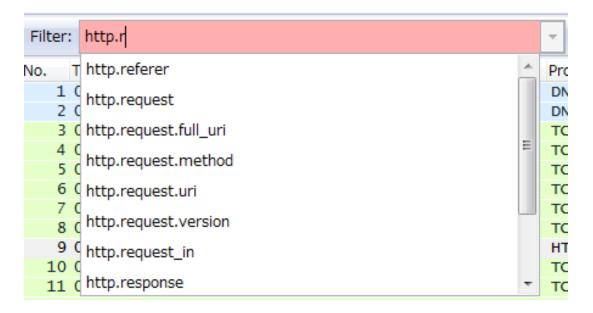
- •Display Filterしたパケットを保存することも可能
- •File -> Export Specified Packets





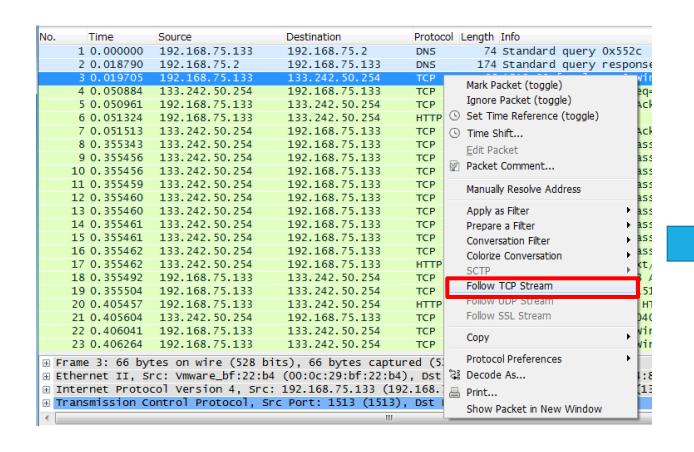


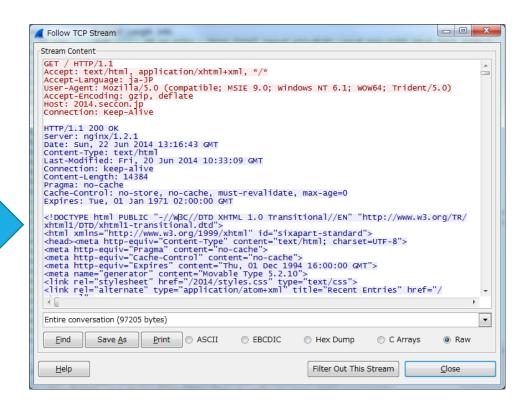
- •フィルタの構文忘れた -> 補完機能
- •構文が間違っていると、ウインドウが赤くなる
- •絞りたい情報があるけど、構文がわからん
- → 補完機能でそれらしき構文を選んでみて、試してみる



TCPで送受信されるデータを抜きたい

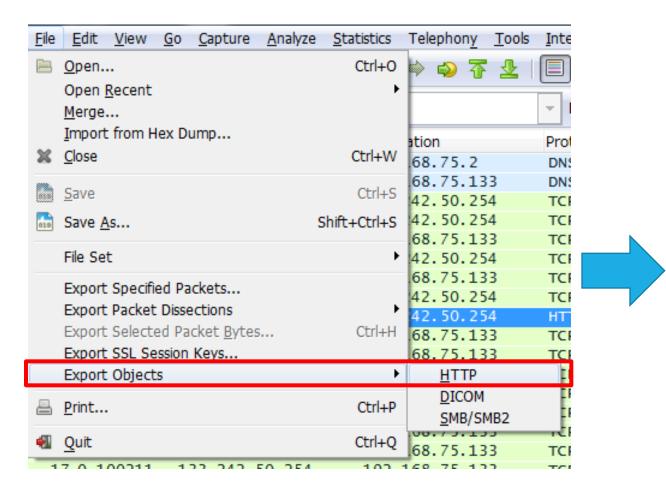
• TCPパケットを選択して右クリック -> Follow TCP Stream

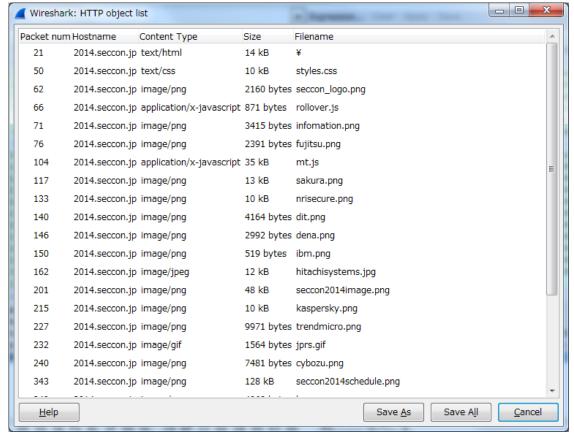




HTTPで取り扱ってるファイルを抽出

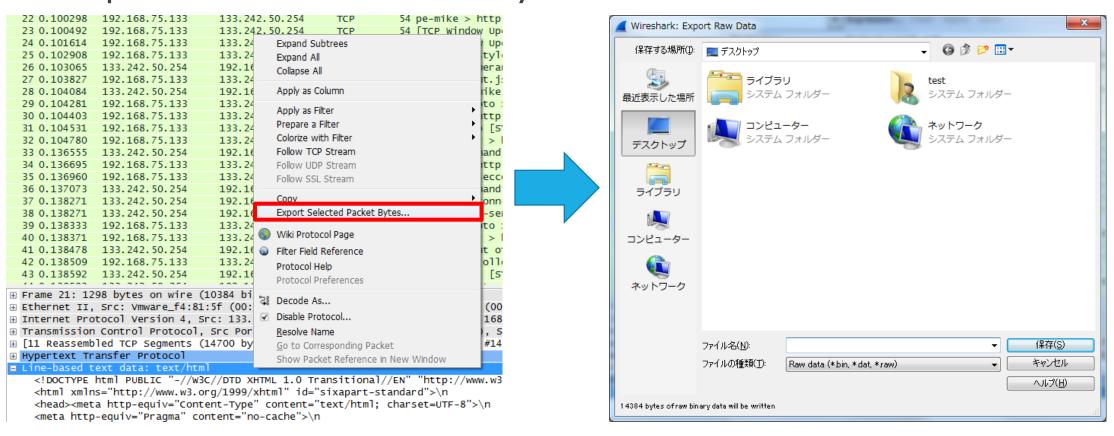
File -> Export Objects -> HTTP





パケットから生データを抽出

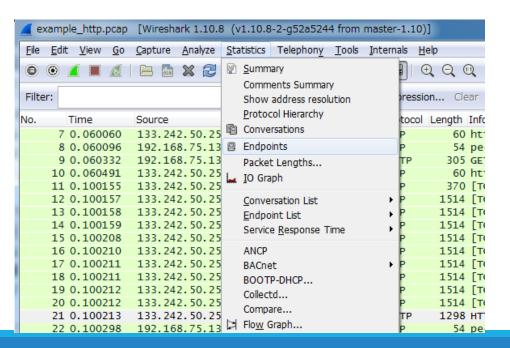
- •パケットの詳細画面で、抽出したい部分を右クリック
 - -> Export Selected Packet Bytes



Wiresharkの統計機能

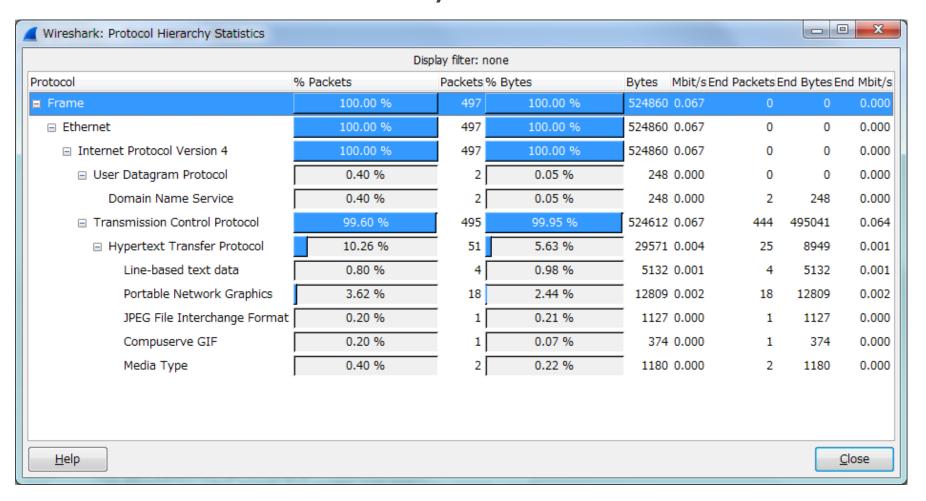
Statistics

- IPアドレスとドメイン名の関係を知りたい → Show address resolution
- 利用されているプロトコルの統計を知りたい → Protocol Hierarchy
- どの端末がどの端末と通信しているかの統計を知りたい → Conversations
- どのような端末が通信しているかの統計を知りたい → Endpoints



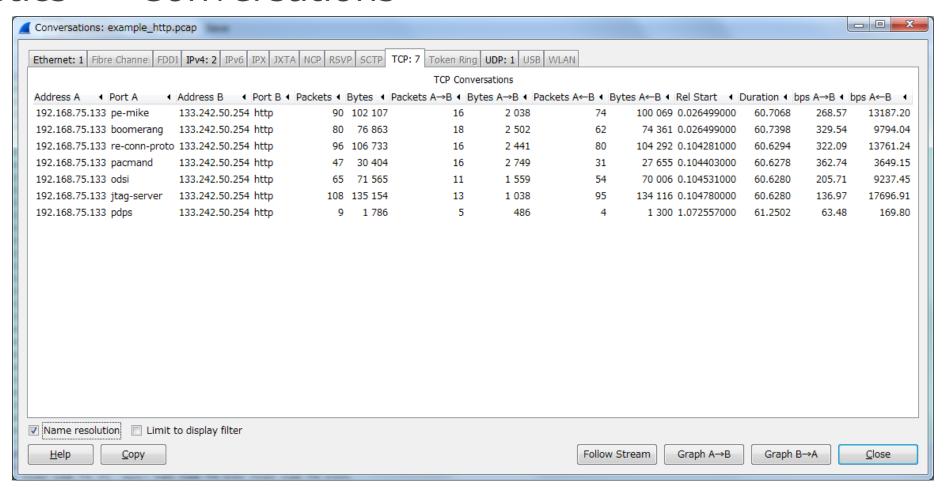
利用されているプロトコルの統計を知りたい

Statistics -> Protocol Hierarchy



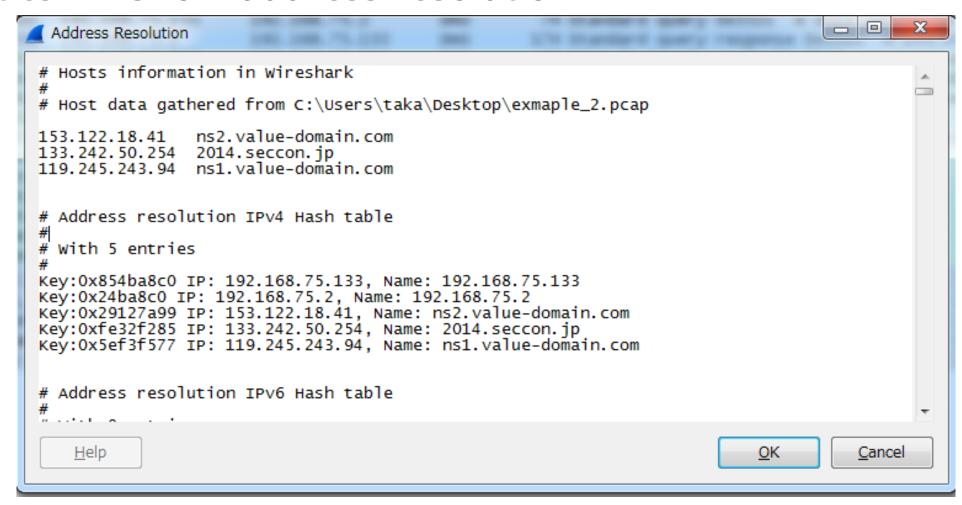
どの端末がどの端末と通信しているか統計を知りたい

•Statistics -> Conversations



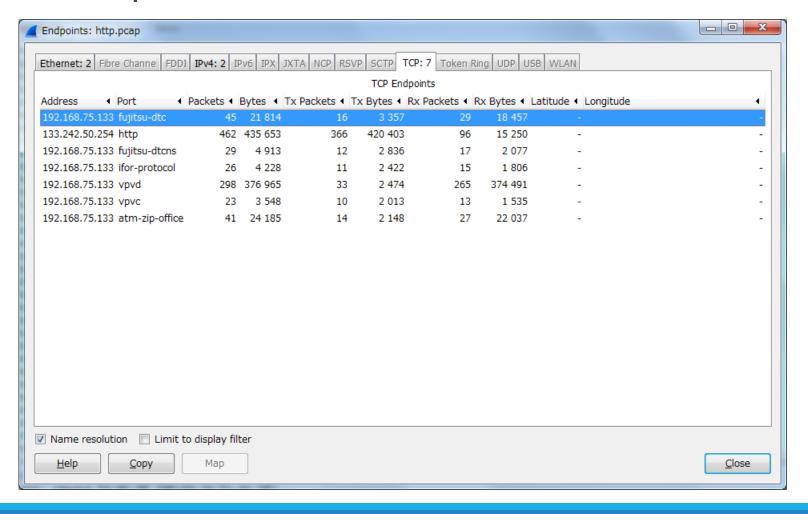
IPアドレスとドメイン名の関係を知りたい

Statistics -> Show address resolution



どのIPアドレスが記録されてるのか知りたい

Statistics -> Endpoints



本日の内容

- 1. ネットワーク分野で必要な知識は?
 - パケット・通信プロトコル
 - Wiresharkの基本的な使い方
- 2. CTFにおけるネットワーク問題
 - どういう問題が出るのか
- 3. 問題を見てみよう
 - 問題解くときに見るべきポイント
- 4. 今後のレベルアップするためには

CTFの問題【ネットワーク】

- 以下のような問題がある
- pcap(pcapng)ファイルを渡される問題
- サーバへ接続する問題

pcap(pcapng)ファイルの場合

- TCP/IP, USB, Bluetoothなど多様な通信が記録されている
- これらをパケット解析して、Flagを見つける
- Networkというジャンルは最近のCTFではあまりない
- Forensicsとしてパケットの問題が出題されることが多い
- CryptoやWebの複合問題として出題されることもしばしば
 - Ex. Web通信がパケットに記録されている

サーバへ接続する問題

- パケットが問題として与えられるパターン
 - パケットを解析して、アクセスするサーバを決める
 - パスワード等の情報がパケットに記録されている場合もある
- アドレス情報が与えられているパターン
 - 書かれている情報を基にサーバへ接続する

本日の内容

- 1. ネットワーク分野で必要な知識は?
 - パケット・通信プロトコル
 - Wiresharkの基本的な使い方
- 2. CTFにおけるネットワーク問題
 - どういう問題が出るのか
- 3. 問題を見てみよう
 - 問題解くときに見るべきポイント
- 4. 今後のレベルアップするためには

問題を見るときのポイント

- パケットが与えられた問題の場合 (この場合のみ紹介)
 - IPアドレス
 - 使われているプロトコル
- アドレス情報が与えられた問題の場合
 - パケットキャプチャして通信を調べる
 - パケットの中身を操作してアクセス

IPアドレス

- オンラインCTFの場合
 - グローバルIPの通信 → そこに接続する問題の可能性が高い
 - プライベートIPの通信 → パケットの中に答えがある可能性が高い
- オフラインCTFの場合
 - 競技用ネットワークから到達できるIPの通信
 - → そこに接続する問題の可能性が高い
 - 競技用ネットワークから到達できないIPの通信
 - → パケットの中に答えがある可能性が高い
- Statisticsの"Conversations"機能を使うとわかりやすい

使われているプロトコル

- 暗号化されていないプロトコルを探す
 - http
 - telnet
 - ftp
 - smtp
 - -など
- 暗号化されている場合、パケットキャプチャしても情報がわからないため(暗号解読は、cryptoのジャンル)
- Statisticsの"Protocol Hierarchy"機能を使うとわかりやすい

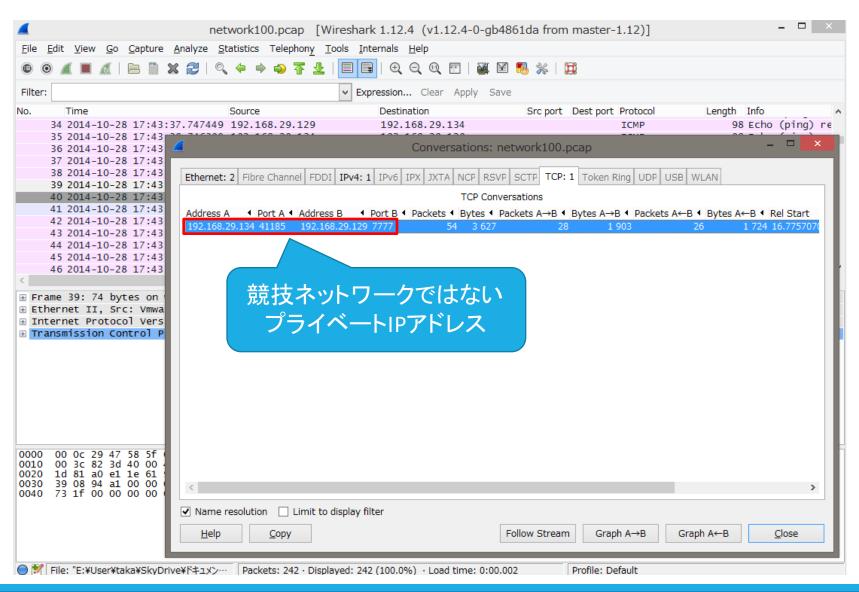
演習

15/7/3

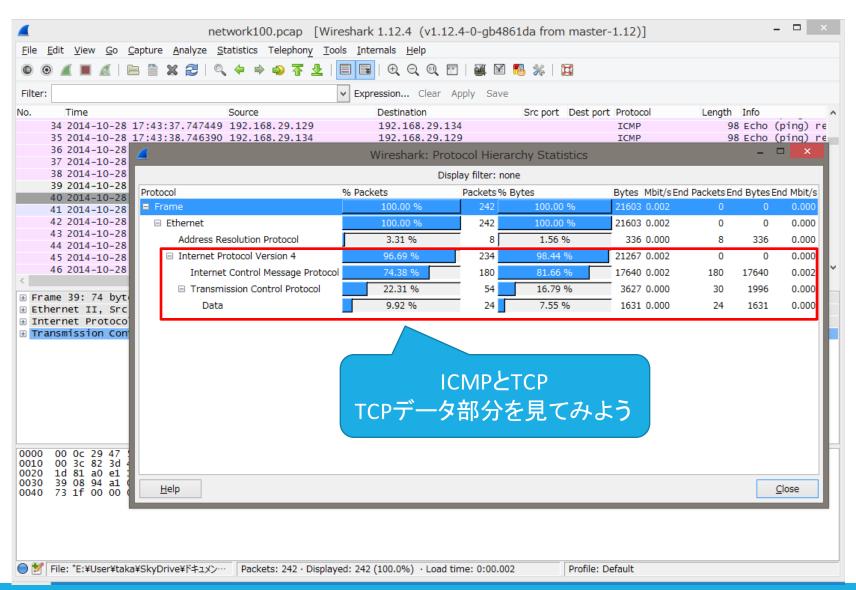
問題を解いてみよう

- network_ex.pcap
- 過去のCTF for ビギナーズ CTFで出題された問題
- パケットが与えられた問題
- 競技ネットワークに接続したら、IPアドレス172.20.x.xが振られた

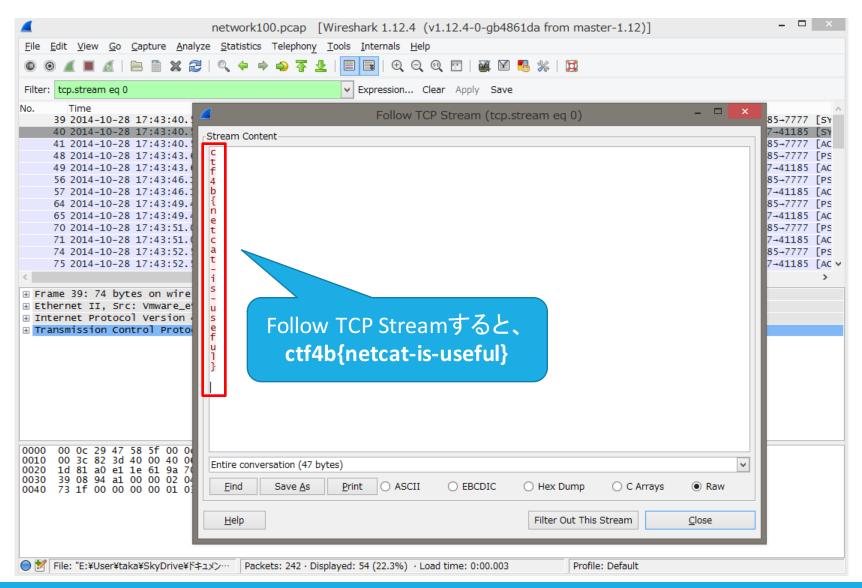
IPアドレスを見る



プロトコルを見る



TCPのデータ部分を見る



本日の内容

- 1. ネットワーク分野で必要な知識は?
 - パケット・通信プロトコル
 - Wiresharkの基本的な使い方
- 2. CTFにおけるネットワーク問題
 - どういう問題が出るのか
- 3. 問題を見てみよう
 - 問題解くときに見るべきポイント
- 4. 今後のレベルアップするためには

今後レベルアップしていくためには

- 不審な通信を探し、不審な箇所を探す
 - 通常の通信と不審な通信を見分ける目が必要
 - = ネットワークの知識、パケットを見る経験が必要
 - それを見るための手法
 - = Wireshark等のツールの使い方を極める
- パケットを作れるようになる
 - nmap等を利用してポートスキャン
 - hping, Scapyなどで手動でパケット生成
- 過去問題の解法を知る = Writeupを読む

今後レベルアップしていくためには

•書籍

- マスタリングTCP/IP 入門編(オーム社)
 - ネットワークの知識を得たい人に
- 実践パケット解析 (オライリー)
 - もっとパケット解析について知りたい人に
- Webサイト
 - 3分間Networking
 - http://www5e.biglobe.ne.jp/%257eaji/3min/index.html
 - Wireshark公式サイト(英語)
 - http://www.wireshark.org/

2015/7/3

Thank You For Listening

Network Packets Don't Lie.

Q&A

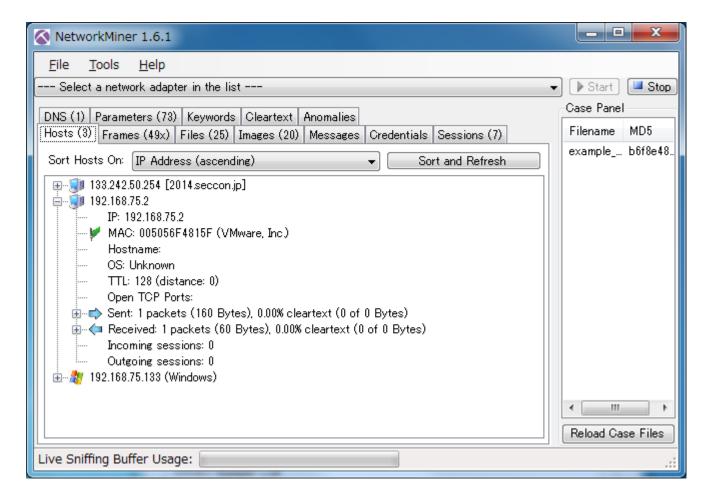


付録 1

Network Minerの使い方

Network Minerの使い方

• pcapファイルをドラッグ&ドロップ



Network Miner

- Network Minerでわかる情報
 - ホスト情報 (OS, Open TCP Port, Service name, version)
 - ファイル抽出
 - 画像抽出(サムネイル付き)
 - 認証情報
 - etc···

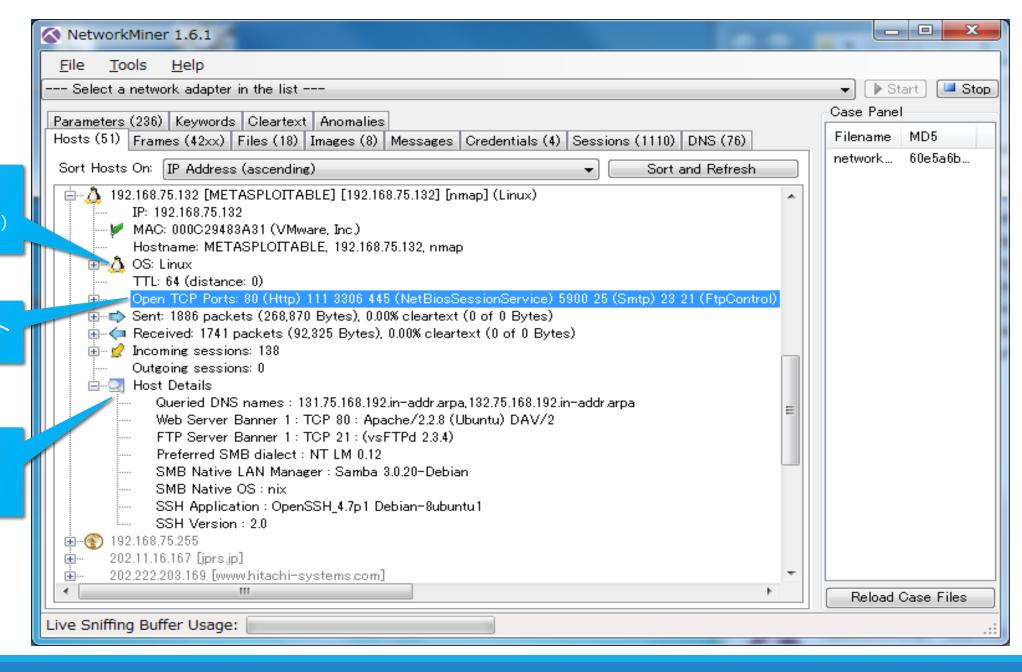
ホスト情報

OS種類

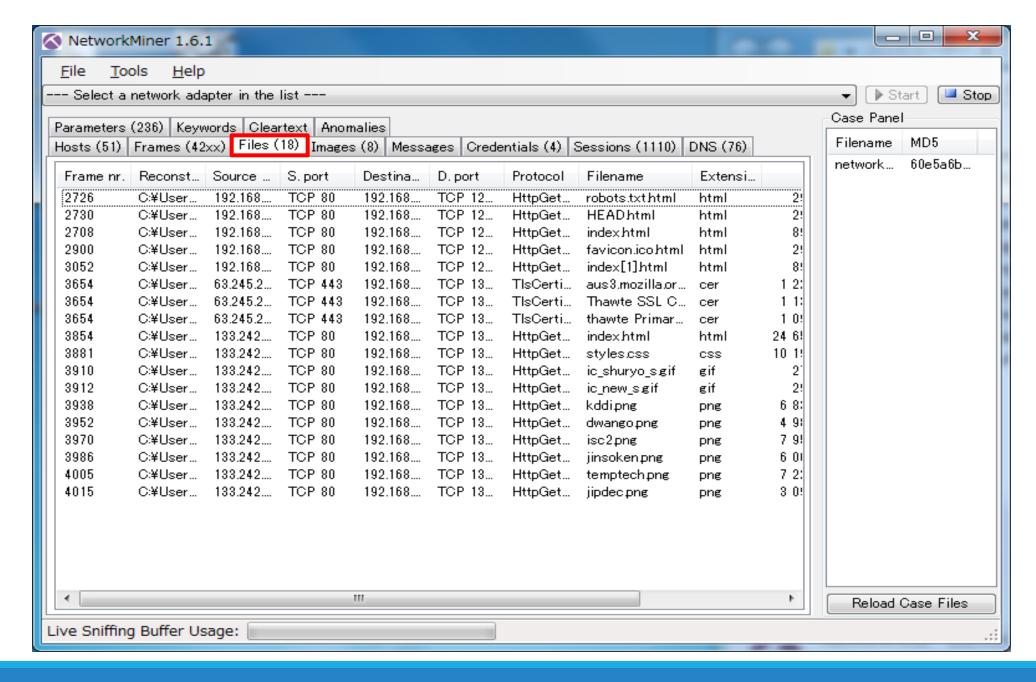
(passive finger printing)

開いているポート

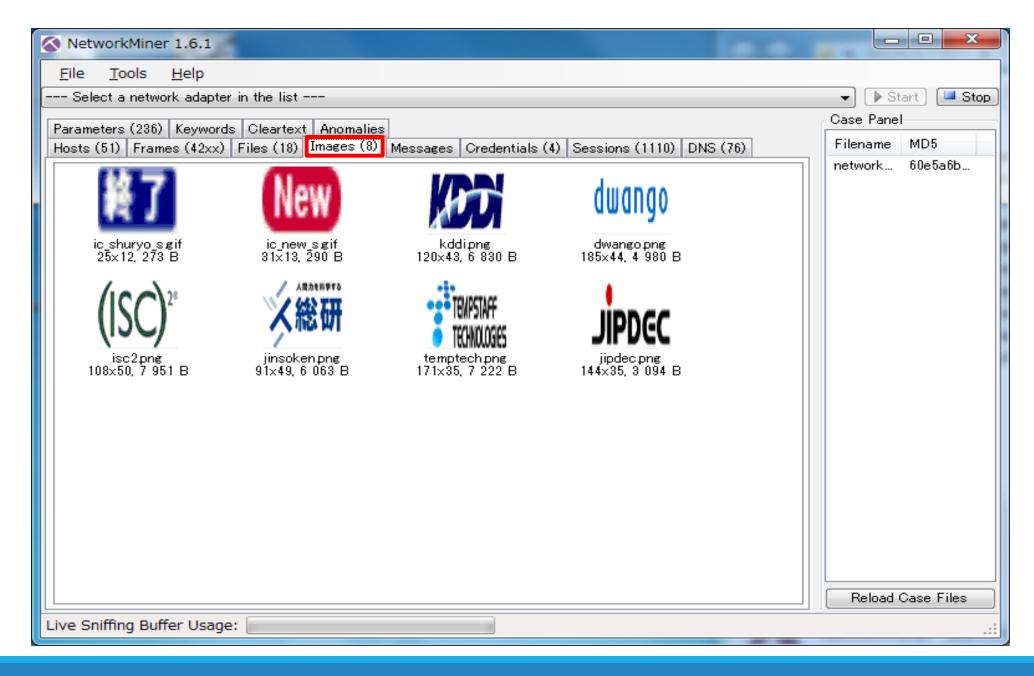
ホストの詳細



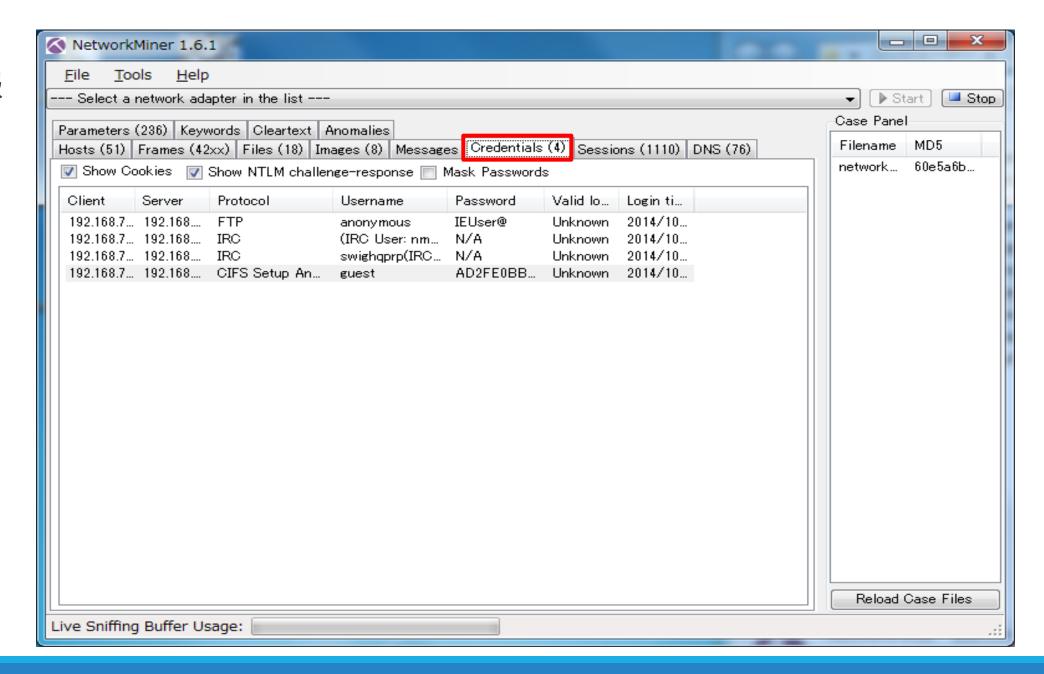
ファイル 抽出



画像



認証情報



Network Miner メリット・デメリット

- ・メリット
 - ネットワークの知識が少なくても扱いやすい
 - Wiresharkを使うより効率が良い場合がある
- ・デメリット
 - Windowsでしか使えない(工夫すれば他のOSでも使えるが…)
 - フィルタリング機能がない
 - ネットワークの勉強には不向き
 - -pcap-ng形式のファイルは扱えない(有償版なら可)

WiresharkとNetwork Minerをうまく併用

付録2

CTFで使えるネットワーク系ツール

CTFで使えるネットワーク系ツール

- CTFで使えると便利なネットワーク系ツール
- 下記のジャンルに分類
 - パケットキャプチャ
 - パケット解析
 - パケット生成・送信
 - Wireshark付属
 - その他
- ・赤字のツールは重要 (だと考えてる)ツール

パケットキャプチャツール

- <u>tcpdump</u> (Linux, Mac OS XなどのUNIX系OS)
 - CUIでパケットキャプチャ、pcapファイルを簡易表示することも
 - 軽い
 - http://www.tcpdump.org/
- Windump (Windows)
 - tcpdumpのWindows移植版
 - http://www.winpcap.org/windump/
- dumpcap / tshark / Wireshark
 - Wiresharkをダウンロードすると付属
 - dumpcapとtsharkはCUI, WiresharkはGUI
 - 機能的には、dumpcap c tshark cWireshark

パケット解析ツール

Wireshark

- GUIでパケットキャプチャ、豊富なパケット解析機能
- tcpdumpと比べると重い
- https://www.wireshark.org/



- パケットキャプチャ、ファイル抽出機能など
- Wiresharkに比べると機能が少ない
- http://www.netresec.com/?page=NetworkMiner



Scapy / dpkt

- Pythonのモジュール
- Pcapファイルをパースして、Pythonで解析することが可能
- scapy : http://www.secdev.org/projects/scapy/
- dpkt : https://code.google.com/p/dpkt/

パケット生成・送信ツール

nmap

- ネットワークスキャンツール
- http://nmap.org/
- hping
 - Pingのようなインターフェースでパケットを生成できる
 - http://www.hping.org/
- Scapy / dpkt
 - パケット関連のPythonライブラリ
 - パケットをパースするのみでなく、パケットの中身を操作して送信できる
- netcat (nc)
 - ネットワークを扱う万能ツール
 - 様々な種類のnetcatが存在する
 - 参考: http://d.hatena.ne.jp/EijiYoshida/20111109/1320800716

Wireshark付属のツール

- editcap
 - pcapngファイルからpcapファイルへの変換
 - 参考: http://divisionbyzero.hatenablog.jp/entry/2012/09/03/223000
 - pcap, pcapngファイルの分割
- mergecap
 - pcap, pcapngファイルの結合
 - 参考: http://d.hatena.ne.jp/giugno/20110914/1315983399
- text2pcap
 - テキスト形式のパケットをpcap形式に変換

その他ツール

- pcapfix
 - 破損しているpcapファイルを修復
 - https://f00l.de/pcapfix/
- tcpreplay
 - pcapファイルに保存されているパケットを再送可能
 - pcapファイルのパケットの情報を書き換えることができる機能
 - http://tcpreplay.jp/